

2025 年度 地域連携推進会議 議事録(共同生活援助)

事務所名； グループホームエース(セカンド)

開催日時； 2025 年 10 月 22 日水曜日 午後 2 時～午後 4 時

開催場所； グループホームエース セカンド 107 号室

参 加 者；	利用者	S 氏
	地域福祉に見識を有する方	K 氏
	地域の障害福祉担当職員	H 氏
	他グループホーム管理者	H 氏
	職員	松村・田中・宮川

(司会者； 宮川 、記録者； 田中)

※入居者家族(1 名)は当日出席の予定であったが、都合により急遽欠席。

- 議 題；
- ① 開会
 - ② 地域連携推進会議の趣旨説明
 - ③ 構成員の自己紹介
 - ④ 障害についてのレクチャー
 - ⑤ 施設とサービスの紹介
 - ⑥ 利用者の日常生活状況の説明
 - ⑦ 近隣からの苦情などの共有
 - ⑧ 経営状況などについて
 - ⑨ B C P (業務継続計画)の策定状況について
 - ⑩ 虐待、自己、ヒヤリハットの報告
 - ⑪ 職員の支援体制
 - ⑫ 利用者の意向アンケート
 - ⑬ 質疑応答
 - ⑭施設見学
 - ⑮ 閉会

議題

① 開会 管理者挨拶

② 地域連携推進会議の主旨説明

別紙資料資料についても説明を行いました。

★別紙資料 1 障がいについてのレクチャー

★別紙資料 2 経営状況について

★別紙資料 3 グループホームについての資料

③ 構成員の自己紹介

④ 障害についてのレクチャー 別紙 1 を使用し説明しました。

⑤ 施設とサービスの紹介 別紙 3 を使用し概要を説明しました。

⑥ 利用者様の日常生活についての説明

セカンド代表 S 氏にご自身の生活について発表してもらう。

別紙 3 を使用し、日中活動や夜間の支援などについて説明した。

⑦ 近隣からの苦情などについて 今年度は近隣からの苦情は特になし。

⑧ 経営状況などについて 別紙 2 を用いて説明しました。

⑨ B C P（業務継続計画）の策定状況について

防災と感染予防について作成し、実地演習の他イーラーニング等でも学習している旨説明。

⑩ 虐待、事故、ヒヤリハットの報告

現状、虐待・身体拘束等を実施した例は当ホームではなし。虐待防止・身体拘束適正化を研修とイーラーニングで行っている。事故・ヒヤリハットの発生状況等について説明した。

⑪職員の支援体制

現在職員はフルパート者を含めて常勤者は6名、非常勤職員は4名の計10名で務めております。早番と遅番の2勤務で身の回りの支援や生活上の相談・解決方法の模索を行っております。毎月ミーティングやグループ学習会を実施しております。

⑫ 利用者の意向アンケート 実施しておりません。

⑬質疑・応答

- ・グループホームでの金銭管理について。
- ・BCPの実地についてどの様に実際に行っているか。
- ・虐待防止委員・身体拘束適正化委員会について。
- ・共益費などについてどの様に行っているか。

上記についての質問があり、返答・説明した。

⑮ 施設見学

⑯ 閉会